

目次

|                      |      |
|----------------------|------|
| □吾人の外面生活と内面生活(感想的論文) | 千葉安良 |
| □御伽噺                 | 四年研究 |
| □叙情詩としての平家物語         | 三年研究 |
| □御馬の嘶                | 尾上先生 |
| □和歌                  |      |
| □感想「富津より」「鎌倉から箱根へ」   |      |
| □會計報告                |      |
| □文化の本質               | 桑木博士 |
| □歐洲文明と個人主義           | 保科先生 |
| □子馬の育て方              | 岡田先生 |

吾人の外面生活と内面生活(感想的論文)

千葉安良

1. 緒言

2. 序論 一、吾人の外面生活と内面生活とは如何なることか。  
二、外面生活と内面生活との形式的方面の關係。

(以上第十四號所載)

3. 本論 一、外面生活と内面生活との實質的方面の關係。  
二、外面生活及内面生活の合理的發達を圖るべきこと。

4. 結尾

本論

一、外面生活と内面生活との實質的方面の關係。

嬉しいと感じた時や好かつたと思つた時には笑ふ。悲しさや感激の情が胸に込み上げて來た時には涙が出る。これは外界或は内界の刺戟を受けて惹き起された内面生活が、それ／＼外面生活に變化を與へたものであつて、その泣いて居る時笑つて居る時は、吾人の内面生活の實質と外面生活の實質とが一致して居る時で